



4・11大増税中止 国民集会

実行委員会ニュース (No.3)

●発行日 2013年3月4日
 ●発行 消費税大増税の中止を
 求める国民集会実行委員会事務局
 豊島区目白 2-36-13(全商連内)
 Tel: 03-3987-4391/Fax: 03-3988-0820

「消費税増税は復興に冷や水をかけるもの」南相馬市長語る

勝部・各界連事務局長は3月4日、福島県・南相馬市長と懇談し、増税中止の運動の協力を訴えました。消費税は弱いものいじめの税制。被災地の復興を願うなら、政府はまず増税中止の決断をするべきです。各地で「悪魔の税制」消費税の実態を告発する宣伝行動を繰り広げ、「財源は」「ヨーロッパでは」「社会保障のためなら」という人たちと旺盛に対話を繰りひろげましょう。

「復旧はいまだ6割、増税は大きな障害」

南相馬市・桜井市長語る

3月4日、桜井勝延・南相馬市長は、「全国商工新聞」(全国商工団体連合会発行)のインタビューに答え、消費税増税への大きな懸念を表明しました。南相馬市は原発災害で痛手を被り、市外避難者は2万人を超えています。市長は、「そもそも原発事故直後の参議院選挙前に、当時の民主党菅首相が突然消費税増税を言い出したことが理解できない。消費税が増税されれば所得の少ない、例えば年金ぐらしの人たちがたちまち生活に困る。また、南相馬では産業の復旧はまだ6割であり、これから再建・復興していく上で大きな障害になる。増税は復興に冷水をかけるもの」という趣旨を語りました。

消費税廃止各界連絡会(各界連)の勝部事務局長が取材に同行し、消費税増税中止の一点で開催する「4・11消費税大増税中止を求める国民集会」への協力を呼びかけました。

「消費税増税中止署名」1時間で311人 神奈川各界連

「消費税増税はやっぱりいや!」と署名・宣伝に取り組むと、かつてない規模で署名が集まり、対話がすすんでいます。

横浜・伊勢崎町商店街では2月25日に5団体30人が参加して定例宣伝を行ったところ、1時間で311人分の署名が集まり、参加者もびっくり。特に1人30分も対話するなど、増税中止への思いがあふれました。「増税したら大企業が逃げる」という方には大企業が海外移転するのは「人件費が安いから、税金のせいではないですよ」、「社会保障のためなら仕方ない」という方には、「大企業への適正課税で財源はあります。大切なのは税金の取り方、使い方」と話して署名を広げました。

川崎ラゾーナでは22団体57人の参加で126人が署名。「増税されたら仕事なくなる」と中高校生も署名。

厚木では本厚木駅前73人が署名し、生活保護を受けている方が、署名後も電話で切々と思いを語るという場面もありました。

いつも署名が集まらない十日市場でも92人が署名。対話がはずめば署名も広がります。

「ダメなものはダメ」ポスター★チラシ
 は3月11日(月)必着の予定です
 各界連のHPで見ることができます。

このニュースは実行委員会参加団体へ送っています。増し刷りしてご活用ください。